

# えひめ 地域づくり協働体通信

平成 29 年度地域活動組織構築事前サポート事業の舞台となった伊予市三秋地区にて、「地域新聞みあき」を作成しておられる地域新聞みあき製作委員会にレポートして頂きました。皆さまの地域活動の参考にしていたければ幸いです。

伊予市三秋（みあき）地区

キーワード：コミュニティ再生、交流人口拡大

●地域に関する様々な情報を新聞として提供し、それらを共有することでコミュニティの活性化に取り組んでいます

三秋地域は、昔から果樹の栽培が盛んで、特にみかんはほとんどの農家の経営の柱でしたが、近年の若者離れと高齢化のため後継者不足という問題から耕作放棄地が増加し、過疎化が加速しつつあります。そして、それに伴い地域の行事は減少・消滅し、活力までもが減退しつつあります。かつての賑わいはどこへやら・・・「このままでは地域のコミュニティーが崩壊し、住みづらくなるのでは！」危機感を持った地域の数名の有志が委員会を結成し、地域に関する様々な古今東西の話題を取材・収集し、写真や挿絵・図等を効果的に取り入れ、老若男女に分かりやすい記事にして新聞を作成し、地域内各戸に配布しています。まずは地域の住民が地域のことを知り、それらの情報を共有し、相互コミュニケーションの活性化を図り、今後の地域を考えるきっかけにしたいと思って取り組んでいます。これまでの記事の取材と掲載から、「明神山登山及び登山道の整備」、「防災訓練と防災意識の喚起」、「コミュニティー広場の再整備」、「伝統行事継承の意識付け」、「野菜づくり講座の開催」など、多彩な活動に繋がっています。近い将来には新聞を起点とした地域独自の商品開発やイベントの開催に繋がっていきけるように取り組んでいきたいと思っています。



●ここがポイント「地域新聞みあき製作委員会」の活動について

Q：「地域新聞みあき製作委員会」について紹介下さい。

A：昨年、原田リーダーを中心に地域の数名の有志で委員会を結成し、これまでに2回の新聞を発刊しました。現在は10名の委員で構成しています。

Q：どのような活動を行なっていますか？

A：ネタ出し会議（各編集委員毎に担当記事を決定）→編集委員を中心に取材活動→編集会議（取材結果の報告及び内容の精査）→原稿作成→校閲会議（編集委員）→印刷→各戸配布というプロセスを経て、新聞発刊の活動を行なっています。

Q：編集で心掛けていることは？

A：これまでに、「アサギマダラ（蝶の一種）」や「地域防災」等地元に密着した話題をメインに据えて編集し、写真も出来るだけ多く入れるなど誰もが読みやすい新聞を目指しています。

Q：今後の活動の目標は？

A：まずは年4回（季刊紙）の新聞発行を継続していくことを目指しています。そして、多くの住民の方に愛される新聞になれるよう我が三秋を様々な角度から取材活動し、普段気付かない三秋の魅力を伝えていきたいと思えます。さらに地域外の方々にも配布の範囲の拡大して認知度を上げ、三秋の良さに気付いてもらえるようにしていきたいです。また、明神山登山会、野菜講習会等の農業支援活動、PR映像の作成及び配信、地域農産物を使用した1日限定「地域食堂」、不定期フリーマーケット（マルシェ）の開催、大池での釣り大会、移住者向けの「空き家見学会」など、この新聞記事をきっかけとした色々なイベントを企画・開催できればとも思っています。

Q：これからの課題はどのようなことですか？

A：現在までの所、印刷代・事務費・会議開催費等の必要最低限の実費のみ、宇費（自治会費）から捻出して頂いている状況で、その他の取材活動に必要な費用（交通費・飲食費・備品購入費）は、各自の持出しとなっています。これからは、助成金・補助金の申請等を利用して、個人負担を軽減して財源を安定させながら、近い将来には新聞記事を起点とした地域独自の商品開発・イベント開催に繋がって、自主財源も確保して自立できるようにしていきたいと思っています。



この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」

Facebook

●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: [chiikiseisak@pref.ehime.jp](mailto:chiikiseisak@pref.ehime.jp)

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: [info@ecpr.or.jp](mailto:info@ecpr.or.jp)